

石川中学校区

地域を自分たちの暮らすまちとして、皆で協力して、守り、育てていくため、弘前市では、「まち育て」という考え方のもと、市民の自主的な活動への支援や、各種計画の策定や事業実施における市民参加を進めています。

この地域別構想は、地域別のまち育てミーティングを通して地域にお住まいの皆さまの生のご意見をいただくとともに、地域の資源を生かしながら、住まい環境をより良いものにしていくために、具体的にどんな取組が必要か、どうしたら実現できるのかを皆さまと考えながら作成されました。



まち育てミーティングの様子

○まち育てミーティングにおける検討の流れ

第1回

地域の自慢を出し合い、地域の特徴を考えよう！

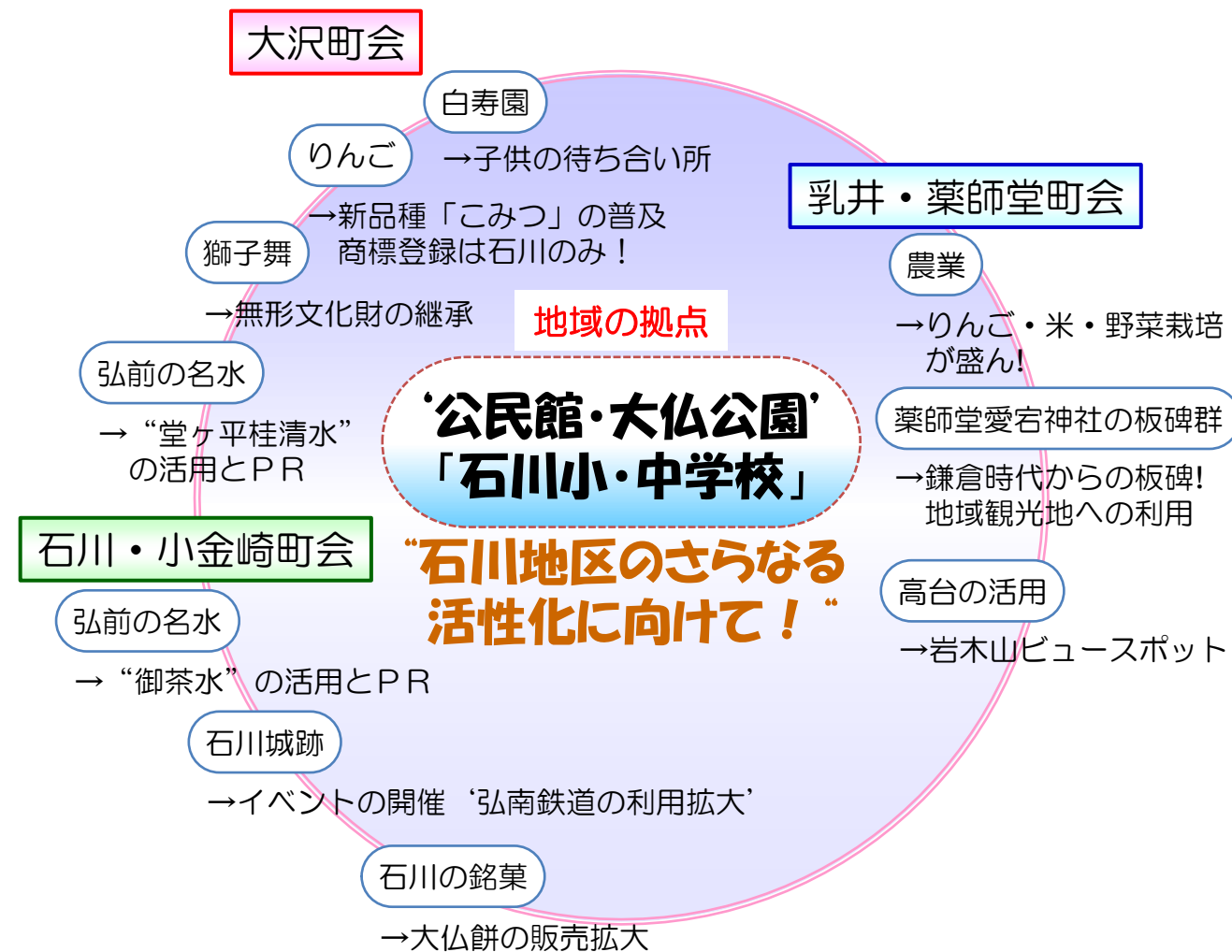
第2回

地域の自慢を磨き、
地域の特長を生かしたまちづくりについて考えよう！

第3回

まちづくりの最初の一步を考えよう！

石川中学校区の価値観（地域の特徴や大事にしたいことは何か？）



地域の取組みで大事にしたいこと

石川中学校区では、この地区の代表的施設である“大仏公園”を中心に、町内会の各団体や小中学校のPTAと協働して、地域活動を行なっています。しかし、商店街は後継者不足から、かつての賑わいも無く、全ての町会から出していた山車の行事もなくなってしまいました。

また、地域の自慢としては、「大沢の獅子舞」が無形文化財に登録されていることや、「寒暖差でおいしいりんご」、「鎌倉時代の板碑がある」ことなど、多くの地域資源があることを再認識しました。

このようなことから、石川中学校区では、次のことを大切にまちづくりを進めていきます。

- ① 寒暖差でおいしい石川地区のりんごを活用するために、農業教育などを行なって地域を活性化する
- ② 地域の代表的な施設の“大仏公園”を活用したイベントで、地域の結束力を高める
- ③ 地域に人を呼び込むような取組みで、地域の魅力を向上する

これから取組みたいこと（暮らしがより楽しめる地域にしていくために）

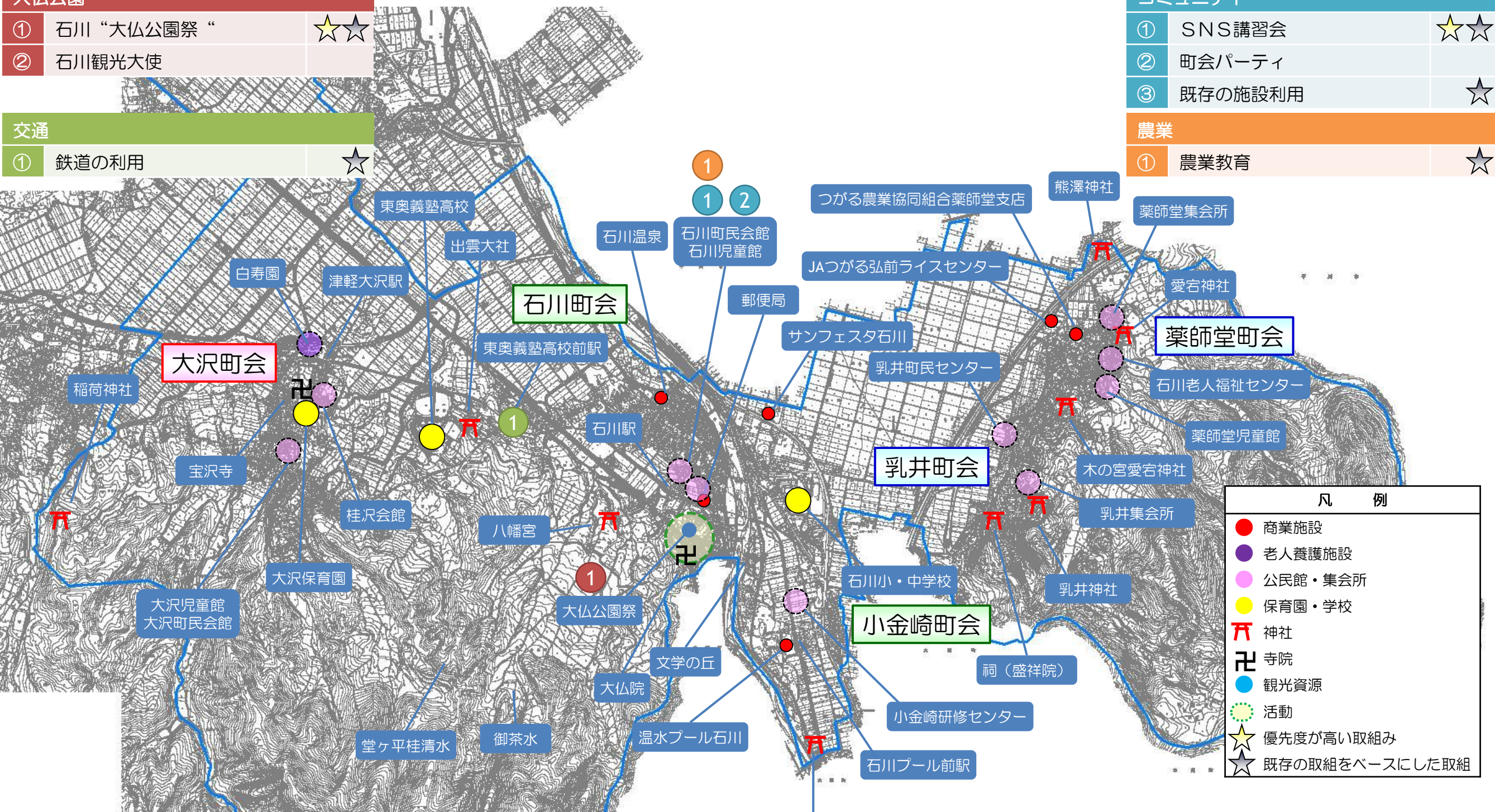
テーマ	取組み	具体的に何をするか？	優先度	誰がやるか？
大仏公園	石川 “大仏公園祭”	石川地区で有名な“大仏公園”を活用して、春～冬までのイベントを行い、観光客を集める。特に、PR活動を積極的に行なう。 ・桜祭り ・あじさい祭り ・紅葉祭り ・冬祭り	◎	町会 地域住民
	石川観光大使	石川地区をPRするために、小学生や中学生が地区住民と一緒に歴史・文化を学び、観光大使として活動する。	△	町会 PTA 学校の先生方
交通	鉄道の利用	地域の重要な交通である弘南鉄道大鰐線やJRを活用して、弘前市中心市街地との交流を促進する。 ・農業との連携 ・まつりのPR ・観光大使の活躍	○	町会 地域住民
コミュニティー	SNS講習会	町会のFacebookをつくって、連絡網や閲覧板を発信する。 ・石川地区イベントなどのPR ・町会間の情報共有 ・若い世代も閲覧する	◎	町会
	町会パーティー	各地区の町会のコミュニティを維持・発展させるため、公民館を利用した“町会パーティー”を開催する。 ・サマーフェスティバル ・婚活パーティー	○	30代の若者達 任意団体 公民館 町会
	既存の施設利用	石川地区にある“老人福祉センター”を広い世代でも活用できる仕組みを考える。 ・小学生が集まる（遊び場） ・多世代の交流拠点	○	地域住民 弘前市
農業	農業教育	石川地区自慢の“あまいりんご”について、多世代を対象に農業教育をする。	○	町会 農協

石川中学校区の資源マップ（地域の自慢や課題はどこにあるか？）

大仏公園		
①	石川“大仏公園祭”	☆☆
②	石川観光大使	

交通		
①	鉄道の利用	☆

コミュニティ		
①	SNS講習会	☆☆
②	町会パーティ	
③	既存の施設利用	☆
農業		
①	農業教育	☆



石川特産“こみつ”



あじさいまつり



大仏餅



弘南鉄道大鰐線